平成26年度

（第24事業年度）

自　平成26年4月　1日
至　平成27年3月31日

事　業　報　告　書

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金

目　　次

○　法人の概況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

○　事業報告

1　当法人の現況に関する事項

(1)　事業の経過及び成果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

(2)　財産及び損益の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

(3)　事業の実施状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

(4)　重要な契約の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

(5)　役職員の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

(6)　役員会等の開催状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

2　役員等に関する事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

3　業務の適正を確保する体制　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

○　事業報告の附属明細書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

（助成事業実績（総括表、個別表）、水産高校等連携育成事業（特認）実績、漁業復興担い手確保支援事業受託業務実績、主な庶務事項）

○　計算書類　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　22

（貸借対照表、正味財産増減計算書・内訳表、財産目録、収支計算書）

○　監事の監査報告書 謄本　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　34

○　法人の概況

1　名　称　　公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金

2　設立年月日　平成３年10月１日
（公益財団法人移行登記日：平成24年４月１日）

3　所在地　　盛岡市内丸16番１号（岩手県水産会館５階）

4　目　的

この法人は、漁業生産を担う漁業者の確保及び育成を図るため、漁業を志向する青年等の就業の促進及び青少年等の漁業に対する理解の向上や青年等漁業者の漁業経営及び漁家生活等の改善向上を図るための自主的活動等に対して支援を行ない、もって本県漁業・漁村の健全な発展に寄与することを目的とする。

5　事　業

(1)　漁業担い手の確保に関する支援事業
(2)　新規漁業就業者等の育成に関する支援事業
(3)　青年等漁業者の経営等の改善向上に関する組織活動支援事業
(4)　地区における漁業担い手対策を総合的に推進するための協議会活動支援事業
(5)　その他この法人の目的を達成するために必要な事業

6　所管官庁　岩手県（農林水産部水産振興課）

7　代表者　　代表理事 大井誠治（岩手県漁業協同組合連合会代表理事会長）

8　基本財産額　５１０，０００千円

出損状況

区　　分	団体数	出捐総額（千円）	比率（%）	摘　　要
県	１	２５０，０００	４９	
市　町　村	１２	７５，０００	１５	沿岸市町村
漁業団体	３８	１７５，０００	３４	漁協、連合会等
そ　の　他	１	１０，０００	２	海づくり大会寄付金
計	５２	５１０，０００	１００	

事　業　報　告

（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

1　当基金の現況に関する事項

(1)　事業の経過及び成果

東日本大震災から 4 年が経過し、本県漁業の復旧状況は、漁業生産の基盤となる漁船や養殖施設は概ね復旧している状況にあり、また、生産面では、ワカメ・コンブの海藻類の養殖に加え、貝類養殖についても徐々に出荷が始まっています。また、背後施設等復旧についても徐々に復旧が始まっています。しかしながら生産は、「がんばる養殖」等のグループで行われており、個人への移行が遅れている状況下にあり、震災前に戻るには、まだ時間がかかる状況となっています。また、個人経営体数は、平成２５年度（第１３次）漁業センサスによると前回の 5,204 に比べ 3,278 と 63%と大幅に減少しており、担い手の確保が急務となってる。

このため、平成 26 年度の事業運営におきましては、前年度に引き続き、養殖漁業復興活動支援事業として、ウニ、カキ、ホヤ等種苗の確保計 10 件（受益対象者数 1,857 人）を実施した。また、基金の本来の事業である漁業担い手確保・育成事業を拡大するとともに国の漁業復興担い手確保支援事業の活用により新規漁業就業者 39 名の研修を支援するなど、本県漁業担い手の維持・確保に努めました。

また、次代を担う水産高校生の育成に資するため、日本財団助成事業により震災で被災した共同実習船の整備について支援しました。

単位：円

事 業 別	予算額(円)	決算額(円)	達成率(%)
基金助成事業	10,553,000	10,078,630	95.6
漁業担い手対策推進事業（受託事務事業）	725,000	606,389	83.6
水産高校等連携育成事業（日本財団助成事業）	541,779,896	538,969,963	99.5
計	553,057,896	549,654,982	99.4

(2)　財産及び損益の状況

単位：円

区　分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
経常収益	9,160,052	15,753,412	14,625,818	13,123,196
経常費用	31,695,168	20,385,936	16,000,555	15,199,915
当期経常増減額	△2,535,116	△4,632,524	△1,374,737	△2,076,719
当期一般正味財産増減額	△4,058,292	△632,524	△1,374,737	△2,076,719
当期指定正味財産増減額	0	23,599,541	8,471,331	18,429,542
正味財産期末残高	522,298,493	545,265,510	552,362,104	568,714,927

注：指定正味財産増減額は基本財産（投資有価証券）の評価益によるもの。

(3)　事業の実施状況

ア　青少年、漁業志向青年等の漁業就業促進・維持確保に関する活動支援

（ア）　漁業担い手確保対策事業

①　小中学生漁業体験・学習事業

地域の小中学生を対象とした漁業体験・学習に対し助成した。

4件（参加小中学生350名）　助成額　200,000円

②　水産高校等連携育成事業

水産高校等と連携して実践的な技術向上を目的とした現場実習等に対して助成した。

2件（参加人数52名）　助成額　120,690円

イ　青年等漁業者組織活動支援事業

（ア）　研究グループ等活動事業

①　研究実践活動

研究グループ等の研究実践活動、研修活動経費に対し助成した。

4件（参加人数69名）　助成額　1,087,000円

（イ）　青年等交流活動事業

①　情報交換会の開催等

全国漁村青壮年・女性活動実績発表大会への参加に対し助成した。

2件（参加人数9名）　助成額　163,940円

②　地域リーダー研修事業

漁業士会が主催する研修会、交流会の開催に対し助成した。

2件（参加人数150名）　助成額　200,000円

ウ　養殖漁業復興活動支援事業　（漁業担い手確保対策事業・特認）

養殖漁業等の復旧の取り組みを促進し漁業担い手の維持確保に資するため、漁業協同組合等が養殖開始に必要な種苗を生産又は確保する活動に対して助成した。

①　カキ種苗確保

漁協等が地域で必要とするカキ種苗を確保する経費に対して助成。

2件　種苗数7,770連、　助成額　3,918,000円

①　ホヤ人工種苗生産

漁協等が地域で必要とする種苗を生産する経費に対して助成。

1件　種苗生産数5,760m　助成額　170,000円

②　ウニ種苗放流

漁協が人工増殖場にウニの移殖等を行う経費に対して助成。

7件　種苗放流・放流　1,410千個、移殖276ｔ　助成額4,219,000円

（ウ）　水産高校等連携育成事業（漁業担い手確保対策事業・特認）

公益財団法人「日本財団」の助成事業を活用し、震災で被災した本県水産高校の実習施設を整備する経費に対して助成した。

共同実習船建造（建造工事等）　県教育委員会　助成額　538,969,963 円

エ　漁業担い手対策推進事業（漁業復興担い手確保支援事業受託業務）

全国漁業就業者確保育成センターからの事務委託を受けて、漁業復興担い手確保支援事業（国庫補助事業）の活用促進や相談・事務指導等を実施し、本県漁業担い手の維持確保に努めた。　事業費 606,389 円

事業区分	受入機関数	研修生数	事業費（千円）
1 技術習得支援（18.8 万円/月）	1	1	1,185
2 新規就業者-漁家子弟-（9.4 万円/月）	21	22	16,936
3 新規就業者-未経験者 -（9.4～18.8 万円/月）	14	16	13,994
4 資格習得支援（講習会受講料）	－	延 164	7,146
平成 26 年度の合計（4 を除く）	**36**	**39**	
5 前年度からの継続（1～3）	40	42	41,022

注：事業費は国から研修生受入機関に交付された補助金の額（指導謝金等）

オ　漁業就業相談・情報提供

漁業就業支援フェアや各種就業相談会に参加し漁業就業相談を行うとともに、当基金への問い合わせや訪問者に対し随時相談に応じた。

① 平成 26 年 9 月 27 日（土）　漁業就業支援フェア 2014（仙台市）
　　相談来場者　55 名

② 平成 27 年 1 月 25 日（土）漁業就業支援フェア 2014　（東京都）
　　相談来場者　309 名　出展団体 43 団体

(4)　重要な契約の状況

契約年月日	相手方	契約金額(円)	契約期間	契約の概要
H26. 4. 1	全国漁業就業者確保育成センター	725,000	H26.4.1 ～ H27.3.31	H 26.年度漁業復興担い手確保支援事業の事務受託

契約年月日	相手方	契約金額(円)	契約期間	契約の概要
H24.11.30	公益財団法人日本財団	572,260,000	H24.11.30～ H27.3.31	未来の水産漁業の担い手育成プロジェクト事業助成金

(5) 役職員の状況

役職員別	区分	前年度末現在	本年度 増	本年度 減	本年度末現在	備考
役員	代表理事	1	0	0	1	
	理事	6	0	0	6	
	監事	2	1	1	2	監事辞任による選任1
	計	9	1	1	9	
職員	事務局長	1	0	0	1	
	非常勤職員	1	0	0	1	
	計	2	0	0	2	
合計		11	0	0	11	

(6) 役員会等の開催状況

ア 評議員会の開催状況

① 平成26年度第1回評議員会

日　　時：平成26年6月23日（月）　10：00～11：20

場　　所：盛岡市内丸16番1号　岩手県水産会館5階中会議室

決議事項　第1号議案　平成25年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認について

第2号議案　平成26年度事業計画の変更について

以上原案のとおり承認

② 平成26年度第2回評議員会（定時評議員会）

日　　時：平成27年3月25日（水）　10：30～11：20

場　　所：岩手県水産会館5階中会議室

決議事項　第1号議案　監事の補充選任について

第2号議案　評議員の補充選任について

第3号議案　平成27年度事業計画及び収支予算について

第4号議案　基本財産の買換えについて

以上原案のとおり承認

評議員会出席状況

役職名	氏名	第1回 H26.6.23	第2回 H27.3.25	出席 回数
評議員	小林昭榮	出席	—	1
評議員	岩脇　洋一	—	出席	1
評議員	門坂　繁樹	出席	出席	2
評議員	佐藤信逸	出席	欠席	1
評議員	田中　仁	出席	—	1
評議員	及川　勝幸	—	欠席	0
評議員	尾前孝一	出席	出席	2
評議員	熊谷節子	出席	出席	2
評議員	吉田敏男	出席	出席	2
評議員	五日市知香	出席	欠席	1
評議員	大森正明	出席	出席	2
評議員出席の計		9	6	—

注：異動があったため評議員11名の表記としている。

イ　理事会の開催状況

①　平成26年度第1回理事会

日　　時　平成26年6月11日（水）10：00～11：07

場　　所　盛岡市内丸14番4号　泉金物産㈱ビル3階会議室

決議事項　第1号議案　平成25年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認について

第2号議案　平成26年度事業計画の変更について

第3号議案　平成26年度水産高校等連携育成事業（特認）助成金交付契約について

第4号議案　第1回評議員会招集の件について

以上原案のとおり承認

②　平成26年度第2回理事会

日　　時　平成27年2月16日（月）10：00～11：00

場　　所　盛岡市内丸17番45号　北ホテル2階会議室「花梨」

決議事項　第1号議案　平成27年度事業計画及び収支予算（案）について

第2号議案　基本財産の買換えについて

第3号議案　監事の補充選任に係る候補者の推薦について

第４号議案　評議員の補充選任に係る候補者の推薦について

第５号議案　業務細則の一部改正について

第６号議案　第２回評議員会招集の件について

報告事項　・業務執行状況について

以上原案のとおり承認

理事会出席状況

役職名	氏名	第１回 H26.6.11	第２回 H27.2.16	出席回数
代表理事	大井誠治	出席	出席	2
理事	大村益男	出席	出席	2
理事	藤島純悦	出席	出席	2
理事	工藤大輔	出席	出席	2
理事	横山英信	欠席	出席	1
理事	小野寺　恵	欠席	出席	1
理事	伊藤正明	出席	出席	2
監事	向井田敏宏	欠席	出席	1
監事	石川勝郎	出席	欠席	1
理事の出席数		５名	７名	—

ウ　監事監査会

日　　時　平成26年６月６日（金）10：30～12：15

場　　所　岩手県水産会館５階小会議室

監査事項　・平成25年度事業報告について

・平成25年度決算について

・理事等の業務執行について

出席監事　監事 向井田敏宏　監事 石川勝郎

エ　助成事業審査会

日　　時　平成27年１月29日（金）13：30～15：00

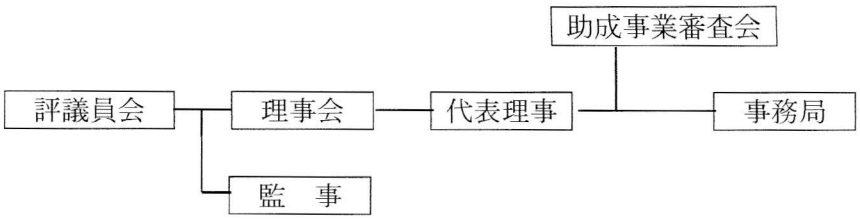
場　　所　岩手県水産会館５階小会議室

審査事項　平成27年度助成事業要望の審査について

出席委員　委員長 石川豊　委員 後藤均　委員 根田幸三

2　役員等に関する事項

(1) 組織



(2) 評議員名簿

（平成 27 年 3 月 31 日現在）

区分	氏　名	常勤・非常勤	他団体等の役職状況
評議員	岩脇　洋一	非常勤	岩手県信用漁業協同組合連合会長
評議員	門坂繁樹	非常勤	JF 共水連東北事業本部岩手支店長
評議員	佐藤信逸	非常勤	山田町長
評議員	及川　勝幸	非常勤	岩手県漁業士会副会長
評議員	尾前孝一	非常勤	ＪＦ岩手漁青連副会長
評議員	熊谷節子	非常勤	岩手県漁協女性部連絡協議会副会長
評議員	吉田敏男	非常勤	岩手県産業教育振興会事務局長
評議員	五日市知香	非常勤	パイロットフィッシュ代表取締役
評議員	大森正明	非常勤	三基ブロック㈱盛岡営業所長

任期：平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 6 月の定時評議員会終結時

(3) 役員名簿

（平成 27 年 3 月 31 日現在）

区分	氏　名	常勤・非常勤	他団体等の役職状況
代表理事	大井誠治	非常勤	岩手県漁業協同組合連合会代表理事会長
理　事	大村益男	非常勤	岩手県農林水産部水産担当技監
理　事	藤島純悦	非常勤	岩手県漁業共済組合専務理事
理　事	工藤大輔	非常勤	岩手県議会議員
理　事	横山英信	非常勤	岩手大学人文社会科学部教授
理　事	小野寺　恵	非常勤	食品開発プロデュース メグミプランニング代表
理　事	伊藤正明	非常勤	岩手県内水面漁業協同組合連合会専務理事
監　事	向井田敏宏	非常勤	岩手県町村会事務局長
監　事	傳　勝司	非常勤	岩手県信用漁業協同組合連合会 常勤監事

任期：理事　平成 25 年 7 月～平成 27 年 6 月の定時評議員会終結時
　　監事　平成 23 年 7 月～平成 27 年 6 月の定時評議員会終結時

(4) 助成事業審査会委員名簿

（平成 27 年 3 月 31 日現在）

区分	氏　名	所　　属
委 員 長	石 川　　豊	岩手県水産技術センター首席普及指導員
副委員長	森 山 拓 也	岩手県農林水産部水産振興課主任主査
委　員	後 藤　　均	岩手県漁業協同組合連合会専務理事
委　員	根 田 幸 三	（公財）岩手県漁業担い手育成基金事務局長

(5) 退任した役員等

氏　名	退任時の地位	退任日	退任理由
小林昭榮	評議員	平成 27 年 2 月 6 日	一身上の都合により辞任
田中　仁	評議員	平成 26 年 11 月 6 日	一身上の都合により辞任
石川勝郎	監　事	平成 27 年 2 月 4 日	一身上の都合により辞任

3　業務の適正を確保する体制

(1) 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

評議員会、理事会の議事録や関連資料、稟議書、報告書等の情報について、保存期限を定める等の必要な保存・管理を実施している。

(2) 理事の職務の執行が適正かつ効率的に行われることを確保するための体制

代表理事の職務執行状況に関する理事会への報告、公印の管理、組織の分掌業務、案件の重要度に応じた決裁権限等を定め、助成事業審査会を設置し、当基金全体として理事の職務執行の効率性を確保している。

事業報告の附属明細書

1　平成 26 年度助成事業実績（総括表）

2　平成 26 年度助成事業実績（個別表）

3　平成 26 年度水産高校等連携育成事業（特認）実績

4　平成 26 年度漁業復興担い手確保支援事業受託業務実績

5　平成 26 年度主な庶務事項

平成26年度漁業担い手育成基金事業実績総括表

事業区分	実施主体	件数	決算額（円）	備考
1 漁業担い手確保対策事業		**6**	**320,690**	
(1) 小中学生漁業体験・学習事業	漁業協同組合、水産高校	4	200,000	
(2) 水産高校等連携育成事業	水産高校	2	120,690	
(3) 漁業志向青年等体験学習事業		0	0	
2 漁業担い手育成対策事業		**0**	**0**	
(1) 新規漁業就業者交流事業		0	0	
(2) 新規漁業就業者技術研修事業	漁船漁業経営体	0	0	
(3) OJT研修支援事業		0	0	
3 青年等漁業者組織活動支援事業		**8**	**1,450,940**	
(1) 研究グループ等活動事業		4	1,087,000	
① 研究実践活動	漁業青年部・研究グループ	4	1,087,000	
② 研修活動	漁協青年部	0	0	
③ 資格取得活動		0	0	
(2) 青年等交流活動事業		2	163,940	
① 情報交換会の開催	漁業士会、漁協女性部連絡協議会	2	163,940	
② 地区活動研究実績発表大会		0	0	
(3) 地域リーダー研修事業（漁業士会活動等）	漁業士会本部、支部	2	200,000	
4 地区漁業担い手対策推進協議会活動事業		0	0	
5 特別対策事業		**11**	**547,276,963**	
(1) 養殖漁業復興活動支援事業（担い手確保対策・特認）		10	8,307,000	
① かき種苗購入費助成	漁業協同組合	2	3,918,000	
② ほや人工種苗生産費助成	養殖組合、漁協青年部	1	170,000	
③ うに移殖経費助成	漁業協同組合	7	4,219,000	移殖放流25ヶ所
(2) 水産高校等連携育成事業（担い手確保対策・特認）	県教育委員会	1	538,969,963	
合計		**25**	**549,048,593**	

平成 26 年度 助成事業実施結果（個別）

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金

1 漁業担い手確保対策事業

(1) 小中学生漁業体験・学習事業

単位：円

地区	実施主体	活動の内容（課題名）	実施場所	実施期間	日数	参加人数	指導者・協力機関等	事業費	助成額	備考
大船渡	岩手県立高田高等学校	一日体験入学	高田高校	8月	1日	40人	地区の中学校	53,654	50,000	
釜石										
宮古	宮古水産高等学校	中学生1日体験入学	宮古市	7月	1日	250	宮古市内の中学校	78,061	50,000	
久慈	種市南漁業協同組合	【宿戸地区少年水産教室】 宿戸地区中学生徒(1年生)を対象としたウニ採り体験、塩ウニ加工体験。	洋野町 宿戸	8月中旬	3日	30	・指導漁業士 ・宿戸漁業研究会 ・宿戸女性部 ・水産業普及指導員	51,840	50,000	
	久慈市漁業協同組合	【久喜地区少年水産教室】 ・久喜地区小学4～6年生児童（30名）を対象とした、定置網起し、ウニ剥き、櫂こぎ、海浜清掃体験。 ・久喜地区小学6年生（12名）を対象とした鮭いくら、新巻づくり体験	久喜市 宇部町 久喜	7月 11月～12月	1日 3日 3日	児童30	・久慈市漁協 ・久慈市漁協久喜地区生産部、女性部 ・指導漁業士（広崎史記） ・久慈市林業水産部 ・水産業普及指導員	50,100	50,000	
計								233,655	200,000	

(2) 水産高校等連携育成事業

単位：円

地区	実施主体	活動の内容（課題名）	実施場所	実施期間	日数	参加人数	指導者・協力機関等	事業費	助成額	備考
大船渡	岩手県立高田高等学校	海洋環境調査（小友浦）、レトルトポウチ試作	高田高校	周年	15日	28人	県立高田高校	103,046	100,000	
久慈	岩手県立久慈東高等学校	久慈の特産品を利用した新しい水産加工品（ショッコ・ホヤ・マダラ）の開発	久慈市	4～3月	周年	生徒24名	岩手県立久慈東高等学校	21,050	20,690	申請額に対し△19,310
計								124,096	120,690	

(3) 漁業志向青年等体験学習事業

単位：円

地区	実施主体	活動の内容（課題名）	実施場所	実施期間	日数	参加人数	指導者・協力機関等	事業費	助成額	備考
計								0	0	

1の合計							357,751	320,690	△ 19,310

2 漁業担い手育成対策事業

(1) 新規漁業就業者交流事業

単位：円

地区	実施主体	活動の内容（課題名）	実施場所	実施期間	日数	参加人数	指導者・協力機関等	事業費	助成額	備考
計								0	0	

(2) 新規漁業就業者技術研修事業

単位:円

地区	受入経営体(漁業種類)	研修生氏名・年齢	研修の内容	研修場所	研修期間	日数	協力機関等	事業費	助成額	備考
計								0	0	

(3) OJT研修支援事業

ア 国内先進漁家等技術研修(短期研修)

単位:円

地区	研修生氏名・年齢	研修先	研修の内容	研修場所	研修期間	日数	協力機関等	事業費	助成額	備考
計								0	0	

イ 新規就業者OJT研修(長期研修)

単位:円

地区	研修生氏名・年齢	研修先	研修の内容	研修場所	研修期間	日数	協力機関等	事業費	助成額	備考
計								0	0	
小計								0	0	
2の合計								0	0	

3 青年等漁業者組織活動支援事業

(1) 研究グループ等活動事業

ア 研究実践活動

単位:円

地区	実施主体	研究等課題	実施場所	実施期間	日数	参加人数	指導者等	事業費	助成額	備考
大船渡	広田湾漁協青壮年部米崎支部	マガキ天然採苗試験	小友浦干潟	6月～3月	304日	10人	大船渡水産振興センター 県水産技術センター	280,240	280,000	
釜石	釜石湾漁協青年部	エゾイシカゲガイ採苗試験	釜石湾	1月～3月	90日	28人	沿岸広域振興局水産部 県水産技術センター	207,776	207,000	申請額に対し△20,000
宮古	宮古北部養殖組合ホタテ部会	ホタテガイ養殖の防汚材導入試験	宮古市	4月～12月	275日	8人	宮古水産振興センター	300,365	300,000	
久慈	小子内漁業研究会	蛇中間育成試験及び視察研修 ・中間育成に係る機器、餌料購入 ・岩手県栽培漁業協会、東北区水産研究所視察	中間育成:小子内浜地区 先進地視察:県栽培漁業協会、東北区水産研究所	中間育成H26.4月～H27.3月 視察研修H26.9月	中間育成H26アワビ搬 視察研修1泊2日	23人	中間育成試験 ・県水産技術センター ・県栽培漁業協会 視察研修 ・東北区水産研究所 ・県栽培漁業協会	403,323	300,000	
計								1,191,704	1,087,000	

イ 研修活動

単位：円

地区	実施主体	研修先	研修の内容	研修場所	研修期間	日数	協力機関等	事業費	助成額	備考
計								0	0	

ウ 資格取得活動

単位：円

地区	実施主体	活動の内容（課題名）	実施場所	実施期間	日数	参加人数	講師等	事業費	助成額	備考
計								0	0	

(2) 青年等交流活動事業

ア 情報交換会の開催等

単位：円

地区	実施主体	活動の内容（課題名）	実施場所	実施期間	日数	参加人数	指導者・協力機関等	事業費	助成額	備考
全県	岩手県漁業士会	漁業士連絡協議会及び全国青年女性漁業者交流大会	東京都	3月	2	3		106,200	100,000	
全県	漁協女性部連絡協議会	全国青年女性漁業者交流大会	東京都	3月	2	6		71,440	63,940	申請額に対し△136,060
計								177,640	163,940	

イ 地区活動研究実績発表大会

単位：円

地区	実施主体	活動の内容（課題名）	実施場所	実施期間	日数	参加人数	指導者・協力機関等	事業費	助成額	備考
計								0	0	

(3) 地域リーダー研修事業（漁業士活動等）

単位：円

地区	実施主体	活動の内容（課題名）	実施場所	実施期間	日数	参加人数	指導者・協力機関等	事業費	助成額	備考
全県	岩手県漁業士会	漁業士交流会	盛岡市等	9～1月	2	100		286,290	100,000	
全県	岩手県漁業士会	漁業士研修会	盛岡市等	7月	1	50		310,300	100,000	
計								596,590	200,000	

3の合計							1,965,934	1,450,940	△ 156,060

4 地区漁業担い手対策推進協議会活動

単位：円

地区	実施主体	活動の内容（課題名）	実施場所	実施期間	日数	参加人数	指導者・協力機関等	事業費	助成額	備考
4の合計								0	0	

5 特別対策事業

（1） 養殖復興活動支援事業（漁業担い手確保対策事業・特認）

① かき種苗確保支援事業

地区	実施主体	事業の内容	実施場所	実施期間	種苗配布対象		指導者・協力機関等	事業費	助成額	備考
					台数	人数				
大船渡	大船渡市漁業協同組合	カキ種苗(4,200連)	赤崎	4～11月	136台	14人	宮城県産種苗	10,441,482	3,480,000	申請額に対し△259,000
		カキ種苗(5,150連)	末崎		134台	27人	宮城県産種苗			
釜石	新おおつち漁業協同組合	かき種苗(1,100連)	大槌湾	4月～12月	44台	11人	沿岸広域振興局水産部 県水産技術センター	1,448,000	438,000	
計								11,889,482	3,918,000	

② ほや人工種苗生産事業

地区	実施主体	活動の内容(課題名)	実施場所	実施期間	種苗配布対象		指導者・協力機関等	事業費	助成額	備考
					台数	人数				
釜石	唐丹町漁協ほや養殖組合	採苗資材等(パーム糸6mm5丸、水槽)	釜石市唐丹	12月～2月	21台	10人	沿岸広域振興局水産部 県水産技術センター	177,930	170,000	
計								177,930	170,000	

③ うに種苗放流事業

地区	実施主体	活動の内容(課題名)	実施場所	実施期間	受益者数	指導者・協力機関等	事業費	助成額	備考
久慈	種市漁業協同組合	種苗放流、増殖溝ウニ移殖 85トン	角浜～鹿糠 5か所	種苗放流5～6月 移殖8～11月	291	・岩手県栽培漁業協会種市事業所 ・県北広域振興局水産部水産業普及指導員	13,485,000	1,500,000	放流数586千個
	玉川浜漁業協同組合	種苗放流、増殖溝ウニ移殖 10トン	玉川浜地先	種苗放流6～8月 移殖6～12月	27	同上	990,000	186,000	放流数53千個
	戸類家漁業協同組合	種苗放流、増殖溝ウニ移殖 10トン	戸類家地先	種苗放流6月 移殖8～11月	28	同上	2,047,000	225,000	放流数45千個
	種市南漁業協同組合	種苗放流、増殖溝ウニ移殖 58トン	宿戸、八木、有家、中野地先	種苗放流4～12月 移殖8～12月	278	同上	11,228,000	765,000	放流数143千個
	小子内浜漁業協同組合	種苗放流、増殖溝ウニ移殖 33トン	小子内地先	種苗放流6～10月 移殖5～2月	91	同上	2,974,371	540,000	放流数341千個

	久慈市漁業協同組合	種苗放流、増殖溝ウニ移殖　68トン	久喜～桑畑地区	種苗放流6～10月移殖4～2月	988	同上	11,877,447	883,000	放流数242千個
	野田村漁業協同組合	増殖溝ウニ移殖　12トン	長根浜、厚井浜増殖場	移殖9～2月	102	同上	724,649	120,000	
計							43,326,467	4,219,000	
(1)の小計							55,393,879	8,307,000	△ 259,000

(2)　水産高校等連携育成事業(漁業担い手確保対策事業・特認)

地区	実施主体	活動の内容(課題名)	実施場所	実施期間	日数	参加人数	指導者・協力機関等	事業費	助成額	備考
全県	岩手県教育委員会	共同実習船建造(翔洋170トン)						982,514,296	538,969,963	日本財団助成金
										残 2,809,933円
計								982,514,296	538,969,963	
5の合計								1,037,908,175	547,276,963	

単位：円

総合計								1,040,231,860	549,048,593	

基金独自　10,078,630円
(H25)　10,468,000円
△ 369,370

平成26年度水産高校等連携育成事業（特認）実績

1　共同実習船建造

(1) 目　　的　将来の漁業を担う人材を持続的に育成するため、震災で被災した共同実習船「翔洋」の代船を建造するとともに支援等について広く情報発信した。

(2) 実施主体　　岩手県（岩手県教育委員会）

(3) 事業実績

区　分	実施期間	事業の内容	事業費(円)	助成額(円)
建造工事	H25.10.15 ～ H27.2.6	共同実習船「海翔」建造工事	957,842,640	519,992,640
建造工事監理委託	H25.10.11 ～ H27.2.13	共同実習船を建造工事監理委託 監理委託先：(一財)日本造船技術センター	8,861,200	8,861,200
事務費	H26.4.23 ～ H27.2.14	建造に係る調査、打合せ等にかかる旅費 漁船保険保険料	5,691,109	5,691,109
広報費	H26.11.26 ～ H27.3.13	共同実習船竣工記念式典開催費用	4,425,014	4,425,014
合　計			976,819,963	538,969,963

2　助成金の当期増減額及び残高

単位：円

助成金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
未来の水産漁業の担い手育成プロジェクト助成金	(公財) 日本財団	108,479,896	433,300,000	538,969,963	2,809,933	流動負債 (預り金)

注：事業期間 平成24年度～平成26年度の3ヶ年間、日本財団との助成金契約額572,260,000円

3　未来の水産漁業の担い手育成プロジェクトの実施状況

年度	実施期間	事業内容	事業費	助成額
24	H24.11~H25.3	製造実習施設等整備	20,667,838	20,667,838
	H24.11~H25.6	共同実習船設計委託	6,646,500	6,646,500
小　　計			27,314,338	27,314,338
25	H25.4~H26.3	共同実習船工事監理等	3,165,766	3,165,766
(26)	H26.4~H27.3	共同実習船建造工事等	976,819,963	538,969,963
総　　計			1,007,300,057	569,450,067

（事業報告附属明細書　復興担い手事務受託実績）

平成26年度漁業復興担い手確保支援事業受託業務実績

1　業務の実績

東日本大震災の被害に伴う水産業従事者の離職を予防するため、現地指導員を配置し、漁業復興担い手確保支援事業の制度周知及び活用の促進を図った。

2　業務実績

(1) 研修制度及び求人情報、求職情報の説明、相談対応

全国漁業就業者確保育成センター作成の事業説明資料、パンフレット及び独自作成資料を活用し、漁協をはじめ漁業者等に制度の周知を図るとともに、漁業就業希望者及び研修生受入漁業者等に対して相談・指導等を行った。

事項	期間	回数	日数	内容
漁業就業支援フェア（仙台）	26.9.27	1	1日	就業相談コーナーを設け来場者の相談に応じた
漁業就業支援フェア（東京）	27.1.25	1	1日	本県募集漁船船主等の対応を支援
相談・指導・助言	26.4.1～27.3.31	随時	163日	研修制度に関する相談等に対し随時対応（現地指導員分を除く）

(2) 制度利用者実績

本制度利用者は研修生100人、資格習得受講者延べ132人となった。

事業区分	一次受入機関数	二次受入機関数	研修生数	謝金等実績額（千円）
過年度から継続	12	40	42	41,022
本年度・新規開始	18	36	39	32,116
技術習得支援	1	1	1	1,186
新規就業者（漁家子弟）	9	21	22	16,936
〃　（未経験者）	8	14	16	13,994
資格習得支援	14	—	延164	7,146
計	延44	延76	延245	80,284

注：受入経営体に対する謝金は、研修生1人当たり月額で技術習得支援18.8万円、新規漁家子弟9.4万円、新規未経験者9.4万円、6月以降14.1万円、12月以降18.8万円。研修期間は、最長2年間。

3　受託業務実績額　　単位：円

区分	契約額（A）	実績額（B）	増減（B）－(A)	備考
指導事務費	725,000	606,389	△118,611	内訳別紙のとおり

平成26年度漁業復興担い手確保支援事業岩手地区事務業務・経費内訳

1　公益財団法人 岩手県漁業担い手育成基金の指導事務費

区分	経費の内訳	金額（円）	備考
賃金	職員　1人×27,200円/月×12ヶ月＝326,400円 1人×850円/時間×24時間＝20,400円 超過勤務（4h×1,600円+2h×1,600円×1.25）＝10,400円 小計　345,200円 臨職1人×800円×20時間＝16,000円 1人×850円×21時間＝17,850円　小計　33,850円 計357,200円	357,200	
福利厚生費	社会保険料　1人・12ヶ月　計130,057円	130,057	
旅費	職員現地指導打合（大船渡地区～久慈地区）2回　46,790円 漁業就業支援フェア（仙台）1回　14,800円 漁業就業支援フェア（東京）1人　32,160円 計　93,750円	93,750	
通信運搬費	電話料12ヶ月分　16,353円 メール便送料　1,394円　切手代　120円　小計 1,514円 計17,867円	17,867	
消耗品	コピー（用紙・使用料）　1,797円 プリンターインク5,717円 計7,515円	7,515	
計		606,389	

（事業報告附属明細書　庶務事項）

主 な 庶 務 事 項

年月日	場　所	記　　事
26.4.4	盛岡市	第1回岩手県資源管理協議会第1回定例会
26.4.25	釜石市	県水産普及総括主査会議
26.6.6	盛岡市	監事による監査
26.6.11	盛岡市	第1回理事会
26.6.12	盛岡市	第1回岩手県資源管理協議会第2回定例会
26.6.16	盛岡市	全国公益法人協会東北地区6月期定例講座
26.6.23	盛岡市	第1回評議員会
26.7.15～6.7.16	大船渡地区	漁業復興担い手確保支援事業現地巡回事務指導
26.7.23～26.24	宮古、久慈地区	漁業復興担い手確保支援事業現地巡回事務指導
26.7.29	盛岡市	平成26年度岩手県農林漁業就業支援連絡協議会
26.8.26	盛岡市	岩手県資源管理協議会第3回定例会
26.9.25	仙台市	漁業就業者支援フェア in 仙台
26.10.24	釜石市	平成26年度第2回県水産普及総括主査会議
26.11.5	盛岡市	岩手県資源管理協議会第4回定例会
26.11.28	大槌町	大槌町水産振興会第3回担い手対策部会
26.12.17	久慈市	久慈地区漁業担い手対策推進協議会
26.12.20	東京都	漁業就業支援フェア2014
27.1.21	盛岡市	岩手県資源管理協議会第5回定例会
27.1.23	釜石市	平成26年度第3回県水産普及総括主査会議
27.1.29	盛岡市	助成事業審査会
27.2.14	宮古市	県立学校共同実習船「海翔」竣工式
27.2.16	盛岡市	第2回理事会
27.3.4	釜石市	平成26年度岩手県水産試験研究成果等報告会
27.3.9	盛岡市	岩手県資源管理協議会第7回定例会
27.3.19	盛岡市	（公財）岩手県水産振興基金助成事業選定委員会
27.3.25	盛岡市	第2回評議員会